



「京銀輝く未来応援ファンド3号 for SDGs」での投資について ～睡眠時無呼吸症候群の治療機器を開発する「株式会社 マリ」へ投資～



京都銀行（頭取 安井 幹也）と京都キャピタルパートナーズ株式会社（代表取締役社長 竹中 伸一）が出資・運用する「京銀未来ファンド3号」は、「株式会社 マリ」へ投資いたしました。

「株式会社 マリ」は、非接触センシング技術を用いた睡眠時無呼吸症候群（SAS）の治療機器を開発する京都大学発スタートアップです。SASは、放置すると重篤な心血管疾患を引き起こす可能性があり、社会的な問題となっています。同社は、SASの診断と治療において、ミリ波レーダーなどの非接触センシング技術と非接触刺激を組み合わせることで、患者の負担を軽減した完全非接触の診断・治療法の提供を目指しています。

京都銀行と京都キャピタルパートナーズは、今後も成長が期待できる企業への積極的な支援を通じて社会課題解決に取り組み、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

記

1. 投資先概要

企業名	株式会社 マリ
代表者	代表取締役 瀧 宏文
所在地	京都市下京区中堂寺栗田町9-1 京都リサーチパーク 9号館 104号室
設立	2017年11月
事業内容	睡眠時無呼吸症候群の診断・治療機器の開発

2. 投資額

30,400,000円

3. 投資について

本件投資により「株式会社 マリ」は、研究開発を進める。

4. 京銀未来ファンド3号の概要

名 称	京銀輝く未来応援ファンド3号 f o r S D G s 投資事業有限責任組合 (略称：京銀未来ファンド3号)
投資対象	<ul style="list-style-type: none"> ・ 京都銀行の営業エリア内に本社を置く、独自性や新規性のある技術やビジネスモデルを有する企業 ・ 京都銀行取引先企業のDX化やサステナビリティ経営に資する事業を行う日本国内の企業
出 資 者	無限責任組合員（GP）：京都キャピタルパートナーズ株式会社 有限責任組合員（LP）：株式会社 京都銀行
ファンド総額	20億円
京都銀行出資額	19億80百万円
設 立	2022年3月31日
存続期間	10年（2022年3月～2031年12月）

以 上

京都フィナンシャルグループでは、「地域社会の繁栄に奉仕する～地域の成長を牽引し、ともに未来を創造する～」という経営理念に基づいた企業活動を行っております。今後も経営理念のより一層高いレベルでの実践である SDGs 達成に向け、地域の社会課題の解決に貢献してまいります。なお、関連するプレスリリースに SDGs の目標のアイコンを明示しております。

